

【資料 2】
第3次浜田市総合振興計画の進め方

総合振興計画とは

総合振興計画とは、市が取り組む「まちづくり」の最上位に位置する計画で、**今後8年を見越した行政運営の総合的な指針**です。浜田市が目指す将来像と、将来像の実現のための政策目標、さらに政策目標を実現するための施策目標を掲載しています。すべての計画は、総合振興計画を基本として策定されます。

第2次浜田市総合振興計画の計画期間は以下のとおりであり、計画期間が令和8（2026）年度に終了することから、本審議会にて（仮称）第3次浜田市総合振興計画の策定を行います。

現計画の計画期間

前期：平成28（2016）年度から令和3（2021）年度

後期：令和4（2022）年度から令和7（2025）年度 ※令和8（2026）年度に延長

総合振興計画の役割

総合振興計画は「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成され、内容と計画期間は以下のとおりです。

	内容	計画期間	
		第2次（現行）	第3次（次期）
基本構想	総合振興計画の最上位に位置し、総合的かつ計画的な行政運営を図るために定める基本的な構想をいいます。	10年間	8年間
基本計画	市政の基本的な計画であり、基本構想を踏まえた施策の基本的な方向及び体系を示すものをいいます。	前期：6年間 後期：4年間	前期：4年間 後期：4年間

総合戦略とは

浜田市の**人口減少対策、地方創生の方針**を「第2次浜田市総合振興計画後期基本計画」の一部として示し、全庁を挙げて取り組んできましたが、以下のとおり、計画期間が令和8（2026）年度で終了することから、次期総合戦略の策定を行います。

現計画の計画期間

令和4（2022）年度から令和7（2025）年度 ※令和8（2026）年度に延長

令和7（2025）年6月に閣議決定された「地方創生2.0基本構想」も踏まえて、第3次浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定します。

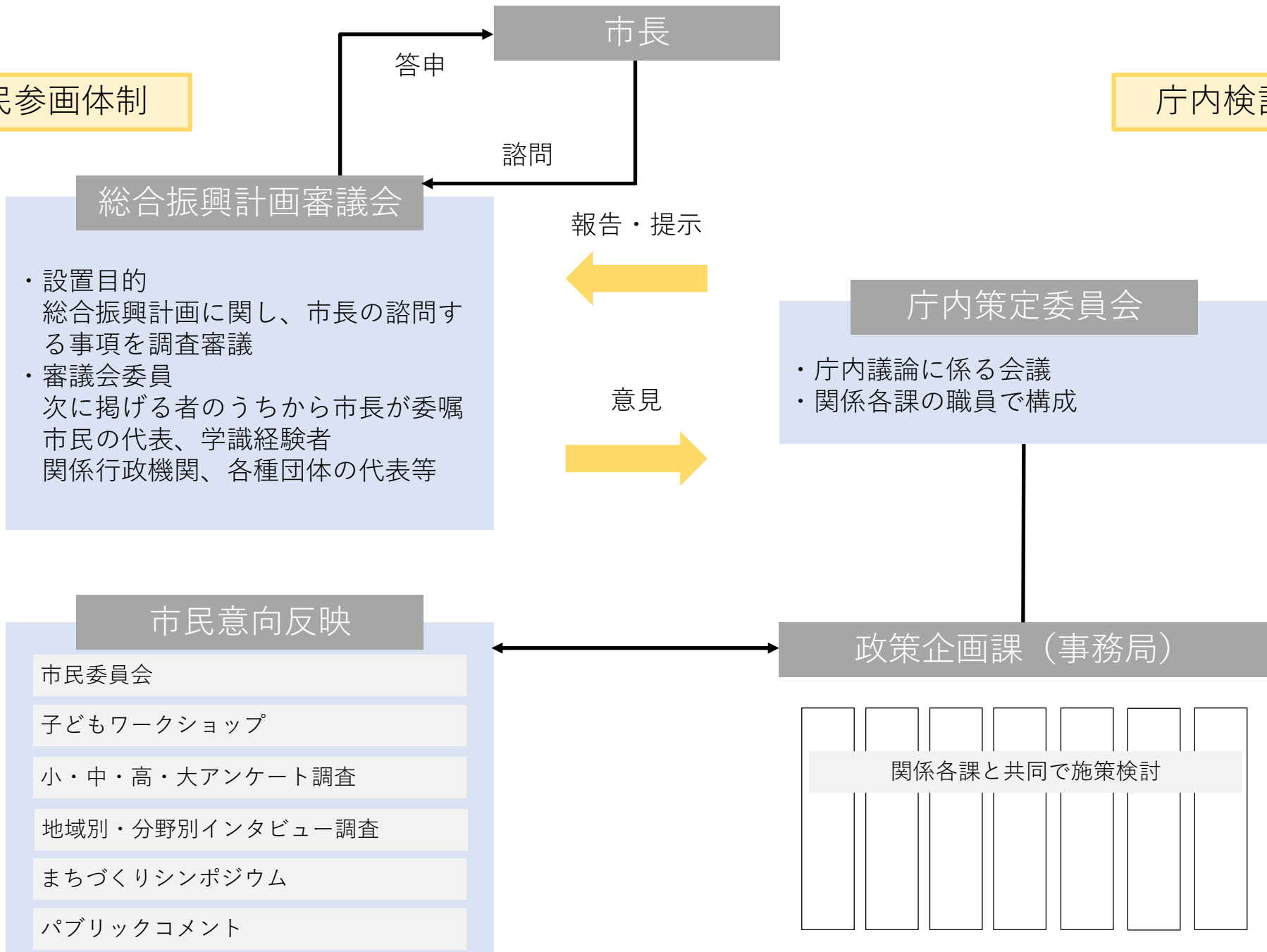
総合戦略の役割

総合戦略の役割は以下のとおりです。

位置付け	人口減少対策、地方創生の取組を位置付ける計画
計画期間	4年間の短期スパン
記載する施策	人口減少対策、地方創生に係る行政施策が対象 総合振興計画と違い、事業レベルの内容も記載
国の補助支援	総合戦略に位置付けた事業の実現に向けて、交付金等の補助支援あり

市民参画体制

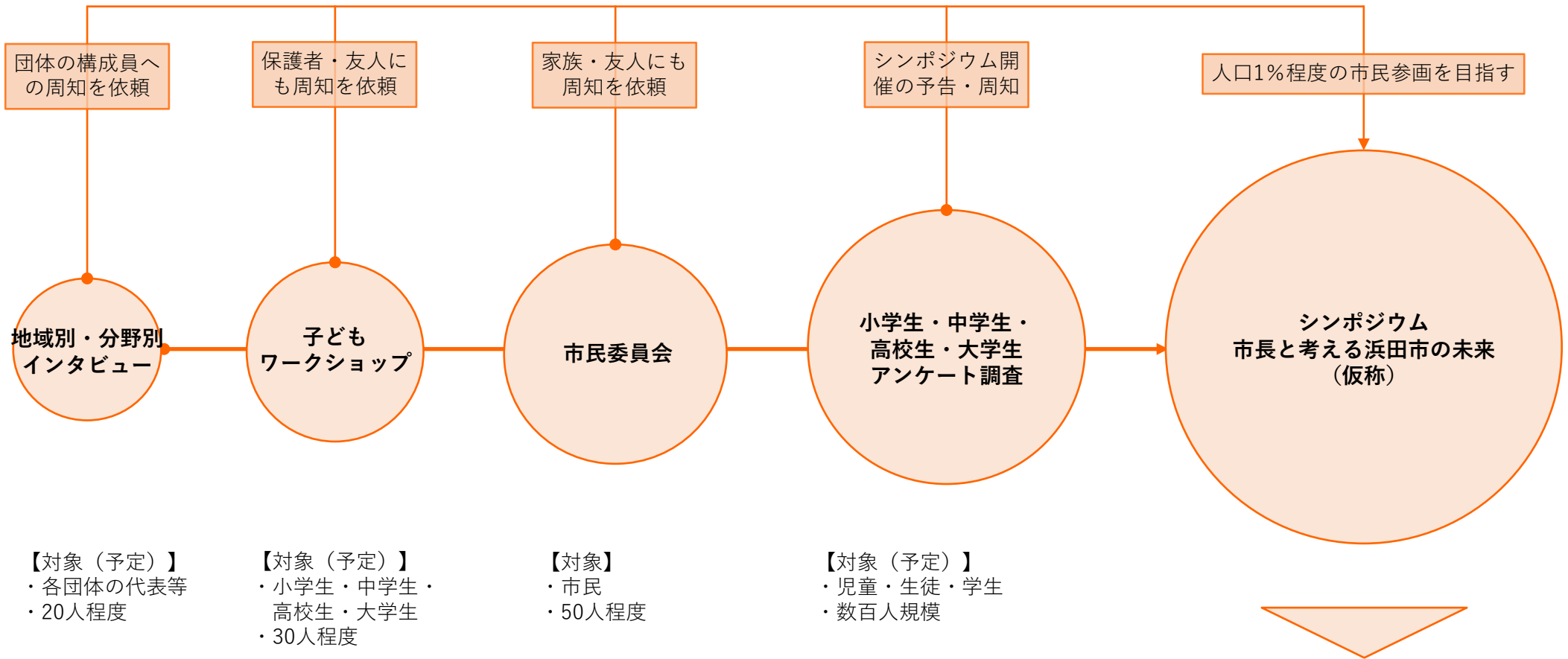
庁内検討体制



第3次浜田市総合振興計画の策定プロセス

- ・総合振興計画の策定に向けて、「世代を超えて共通する浜田市ならではの価値観、次世代（子や孫世代）に受け継いでいきたい価値観」を市民委員会、ワークショップ、アンケート調査等により検討し、まちづくりシンポジウム及びパブリックコメントで多くの市民と共有します。
- ・総合振興計画の策定を通じて、多くの市民が同じ言葉、同じイメージで浜田市の未来を語れる状態を目指します。

●市民参画のプロセス



パブリックコメントの実施

○の大きさ：市民参画の人数のイメージ。市民との対話等を徐々に進め、シンポジウムを開催。

令和8年度計画策定スケジュール

日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	日
2日	木	土	火	木	日	水	金	月	水	土	火	火	2日
3日	金	日	水	金	月	木	土	火	木	日	水	水	3日
4日	土	月	木	土	火	金	日	水	金	月	木	木	4日
5日	日	火	金	日	水	土	月	木	土	火	金	金	5日
6日	月	水	土	月	木	日	火	金	日	水	土	土	6日
7日	火	木	日	火	金	月	水	土	月	木	日	日	7日
8日	水	金	月	水	土	火	木	日	火	金	月	月	8日
9日	木	土	火	木	日	水	金	月	水	土	火	火	9日
10日	金	日	水	金	月	木	土	火	木	日	水	水	10日
11日	土	月	木	土	火	金	日	水	金	月	木	木	11日
12日	日	火	金	日	水	土	月	木	土	火	金	金	12日
13日	月	水	土	月	木	日	火	金	日	水	土	土	13日
14日	火	木	日	火	金	月	水	土	月	木	日	日	14日
15日	水	金	月	水	土	火	木	日	火	金	月	月	15日
16日	木	土	火	木	日	水	金	月	水	土	火	火	16日
17日	金	日	水	金	月	木	土	火	木	日	水	水	17日
18日	土	月	木	土	火	金	日	水	金	月	木	木	18日
19日	日	火	金	日	水	土	月	木	土	火	金	金	19日
20日	月	水	土	月	木	日	火	金	日	水	土	土	20日
21日	火	木	日	火	金	月	水	土	月	木	日	日	21日
22日	水	金	月	水	土	火	木	日	火	金	月	月	22日
23日	木	土	火	木	日	水	金	月	水	土	火	火	23日
24日	金	日	水	金	月	木	土	火	木	日	水	水	24日
25日	土	月	木	土	火	金	日	水	金	月	木	木	25日
26日	日	火	金	日	水	土	月	木	土	火	金	金	26日
27日	月	水	土	月	木	日	火	金	日	水	土	土	27日
28日	火	木	日	火	金	月	水	土	月	木	日	日	28日
29日	水	金	月	水	土	火	木	日	火	金	月	月	29日
30日	木	土	火	木	日	水	金	月	水	土	火	火	30日
31日		日	水	金	月		土		木	日		水	31日

庁内(第4回)
4月23日(木)
10:00~11:30
系案審議

審議会(1回)
5月8日(金)
18:30~20:30
諮問 骨子審議

庁内(第5回)
6月5日(金)
16:00~17:30
骨子審議

審議会(2回)
6月9日(火)
18:30~20:30
骨子審議

庁内(第6回)
7月6日(月)
10:30~12:00
骨子審議

審議会(3回)
7月15日(水)
18:30~20:30
骨子確定

庁内(第7回)
8月7日(金)
13:00~14:30
系案審議

審議会(4回)
8月19日(水)
18:30~20:30
系案確定

庁内(第8回)
9月16日(水)
13:00~14:30
原案審議

審議会(5回)
9月28日(月)
18:30~20:30
原案確定

シンポジウム
3時間10分
13:30~

庁内(第9回)
10月23日(金)
13:00~14:30
パブコム前最終確認

審議会(6回)
10月30日(金)
18:30~20:30
パブコム前最終

庁内(第10回)
12月21日(月)
13:00~14:30
パブコム報告

審議会(7回)
12月25日(金)
18:30~20:30
パブコム報告 答申

庁内(第11回)
1月12日(月)
13:00~14:30
議案提出

【資料 3】

第 3 次浜田市総合振興計画策定における論点

① 第3次浜田市総合振興計画の基本構想について

【前提】

- ・人口減少、財政規模縮小、機能の存続/廃止/縮小について

【将来像】

- ・次世代(子や孫世代)に受け継いでいきたい浜田市ならではの価値観について

【政策・施策体系】

- ・分野を横断する政策について
⇒ 公民連携の推進、デジタル化の推進、人材育成の推進、プロモーションの推進、健全な財政運営の推進

【推進体制】

- ・政策・施策体系を実現するための庁内推進体制について

② 次期総合戦略について

【ターゲットの設定】

- ・人口減少対策として誰を重点ターゲットにするか
⇒ 転入促進：UIターン、若年女性、子育て世代、関係人口(県立大学生、都市部の若者等) 等
⇒ 転出抑制：高校卒業時(地元就職)、子育て世代、コミュニティ 等
⇒ 生涯未婚率の低下：30代・40代の結婚願望のある未婚者 等
⇒ 完結出生児数の増加：第1子出産(所得向上等)、第2子・3子出産(子育て環境等) 等

【リーディングプロジェクトの設定】

- ・リーディングプロジェクト(各基本目標の先導的役割を果たすプロジェクト)について
⇒ 今後4年間で、浜田市として必ず実現を目指す4つのプロジェクト

【実効性担保の手法】

- ・公民連携の体制づくり、空間マネジメント、機能マネジメント、人材マネジメント 等

③ 次期人口ビジョンについて

【目的の明確化】

- ・人口減少緩和策：何のために目標人口を設定するか
⇒ アウトカム(生活関連サービスの存在確率を高める、小学校・中学校の適正規模を守る等)
- ・人口減少適応策：人口減少を前提とした地域社会のあり方とは
⇒ ウェルビーイングなまちづくり/関係人口の創出・拡大・深化/コンパクト+ネットワーク等

④ シンポジウムについて

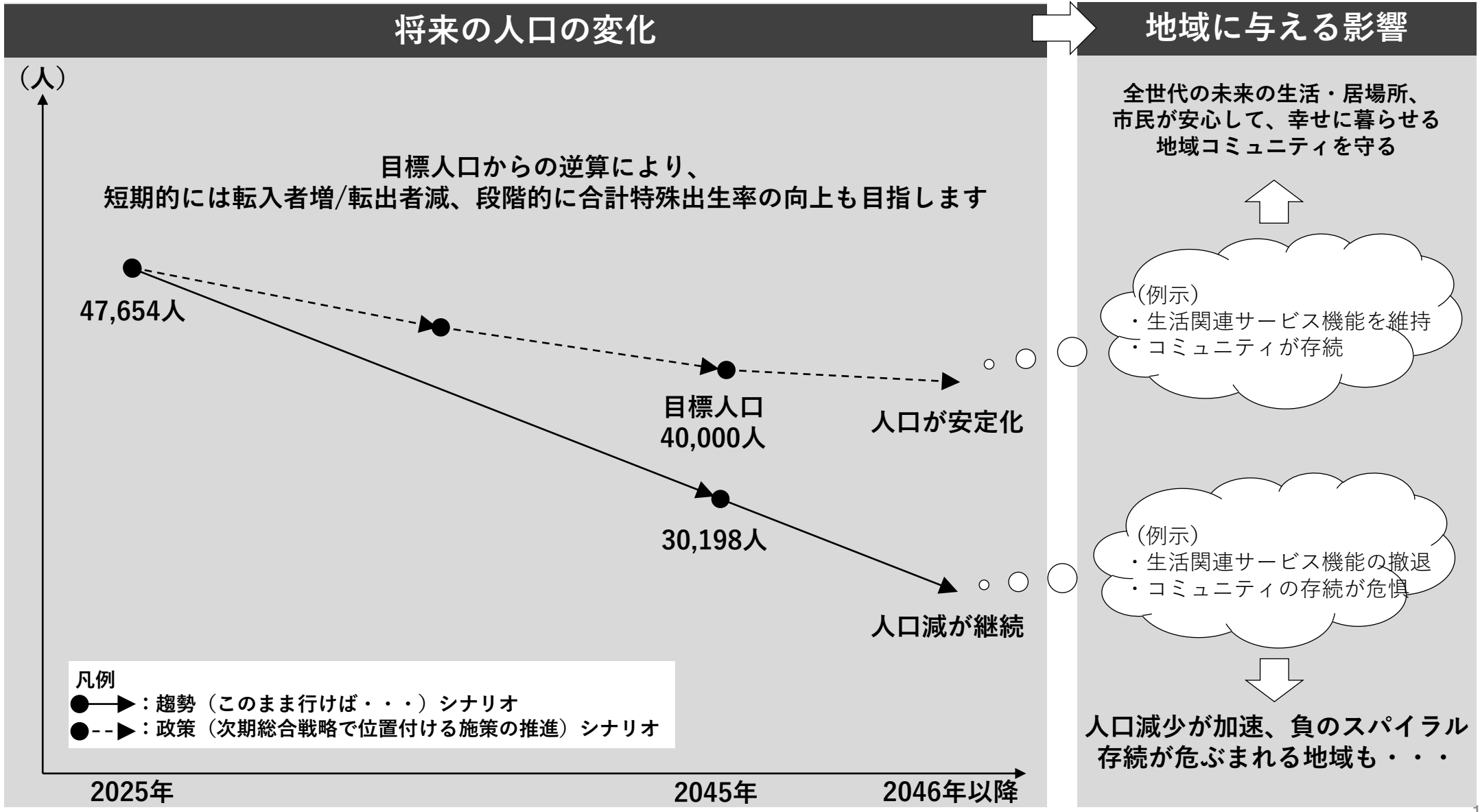
- ・シンポジウムのプログラム(案)について

【資料4】
第3次浜田市人口ビジョン

目次構成（案）及び検討ポイント

目次構成（案）	検討ポイント
1. 第3次浜田市人口ビジョンについて	
（1）位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ・今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すもの ・まち・ひと・しごと創生の実現に向けて効果的な政策・施策を企画する上で、重要な基礎資料 ・第3次浜田市総合振興計画は、2030年までの計画だが、人口の将来展望は2100年までを提示
（2）対象期間	
2. 第3次浜田市人口ビジョンの方針	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少は、サービス施設の存在確率を低下させ、コミュニティの衰退等に影響を及ぼす ・子どもたちの未来の生活・居場所を守る上で、浜田市として死守すべき人口規模を明確化
3. 第2次浜田市人口ビジョンの振り返り	
（1）推計値と実績値の乖離の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次浜田市人口ビジョン策定時の将来人口の推計値と実績値の乖離の要因分析を実施 ⇒性別・5歳階級年齢区分別にみて、どのコーホート（集団）で乖離が発生しているか明確化等
（2）推計値と実績値の乖離の要因分析	
4. 浜田市の人口動向	
（1）自然増減と社会増減	<ul style="list-style-type: none"> ・浜田市における施策介入のポイントを議論する上で、前提となるデータとして整理 ⇒転入者の動向：前居住地別の転入者数、性別・年齢区分別の転入者数等 ⇒転出者の動向：後居住地別の転出者数、性別・年齢区分別の転出者数等 ⇒出生率の動向：出生率指標の要素分解（出生数・未婚率・20-44歳女性人口）等
（2）男女別・5歳階級別の人口ピラミッド	
（3）転入者・転出者の動向	
（4）出生率の動向	
5. 浜田市における施策介入のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・転入促進、転出抑制、出生率向上、健康寿命延伸の成果を見据えて、施策介入のポイントを整理
6. 浜田市の人口の超長期推計	
（1）人口推計手法の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口は下げ止まることがないため、楽観視することは出来ないことを定量的に示す ⇒人口減少対策も必要だが、人口減少社会を前提とした地域のあり方も同時に考えることが重要 ・地区別の将来の人口動向も定量的に示し、人口減少対策の必要性について、市民と共通認識を得る等
（2）市全体の人口の超長期推計	
（3）地区別の人口の超長期推計	
7. 人口変化が地域に与える影響	<ul style="list-style-type: none"> ・財政、サービス施設、行政サービス、公共交通、小中高の運営、コミュニティ等への影響を分析等
8. 目指す将来像の実現に必要な政策シナリオ	
（1）目標人口の設計フロー	<ul style="list-style-type: none"> ・人口変化が地域に与える影響を踏まえた上で、浜田市として死守すべき人口規模を設定等
（2）人口シミュレーションの手法	<ul style="list-style-type: none"> ・目標人口の達成に向けて、①毎年、何人の転入促進又は転出抑制が必要か、②中長期的に合計特殊出生率（子ども女性比）をどの程度向上する必要があるか、具体的な数字を検討等
（3）人口シミュレーションの結果	
（4）重点的に推進する政策シナリオの提言	<ul style="list-style-type: none"> ・人口シミュレーションの結果を踏まえた上で、重点的に推進する政策シナリオを提言等

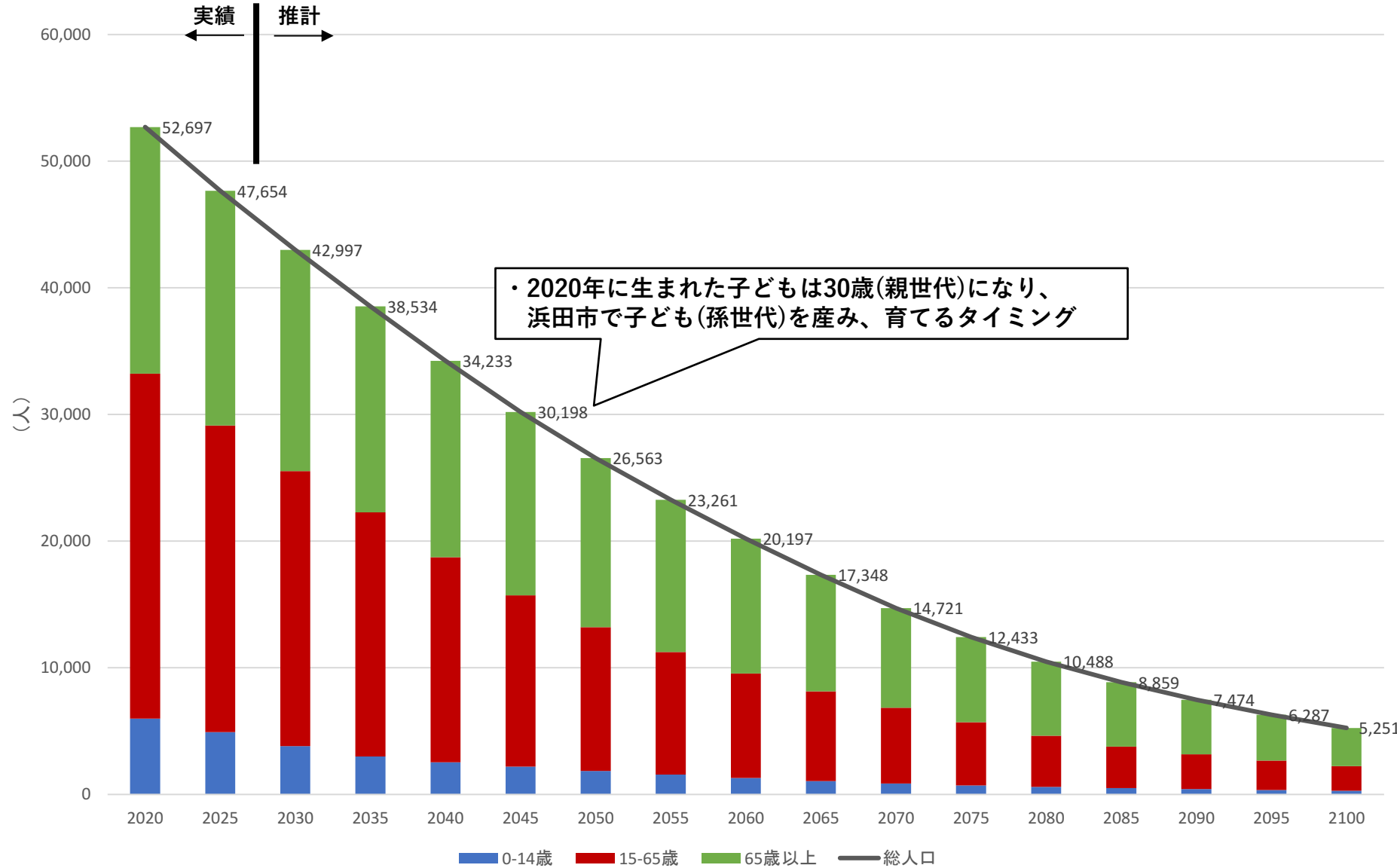
- ・ 検討①：2100年までを見据えた段階的な目標人口の設定
⇒人口変化が地域に与える影響を踏まえて、2045年の目標人口を設定します。
- ・ 検討②：2046年以降の人口の持続可能性を高め、目標人口の安定化を図る
⇒2046年以降も目標人口と同水準の人口規模を維持するために必要な政策シナリオを検討します。



市全体の推計人口の推移

・浜田市全体の趨勢人口の推計結果は以下の通りです。浜田市の将来人口は減少が続き、2100年には約5,351人まで縮小すると推計されます。これに伴い、高齢化の進行や税収減、生活利便施設の縮小、コミュニティ機能の低下など、地域維持に関わる課題の深刻化が懸念されます。

市全体の推計人口の推移



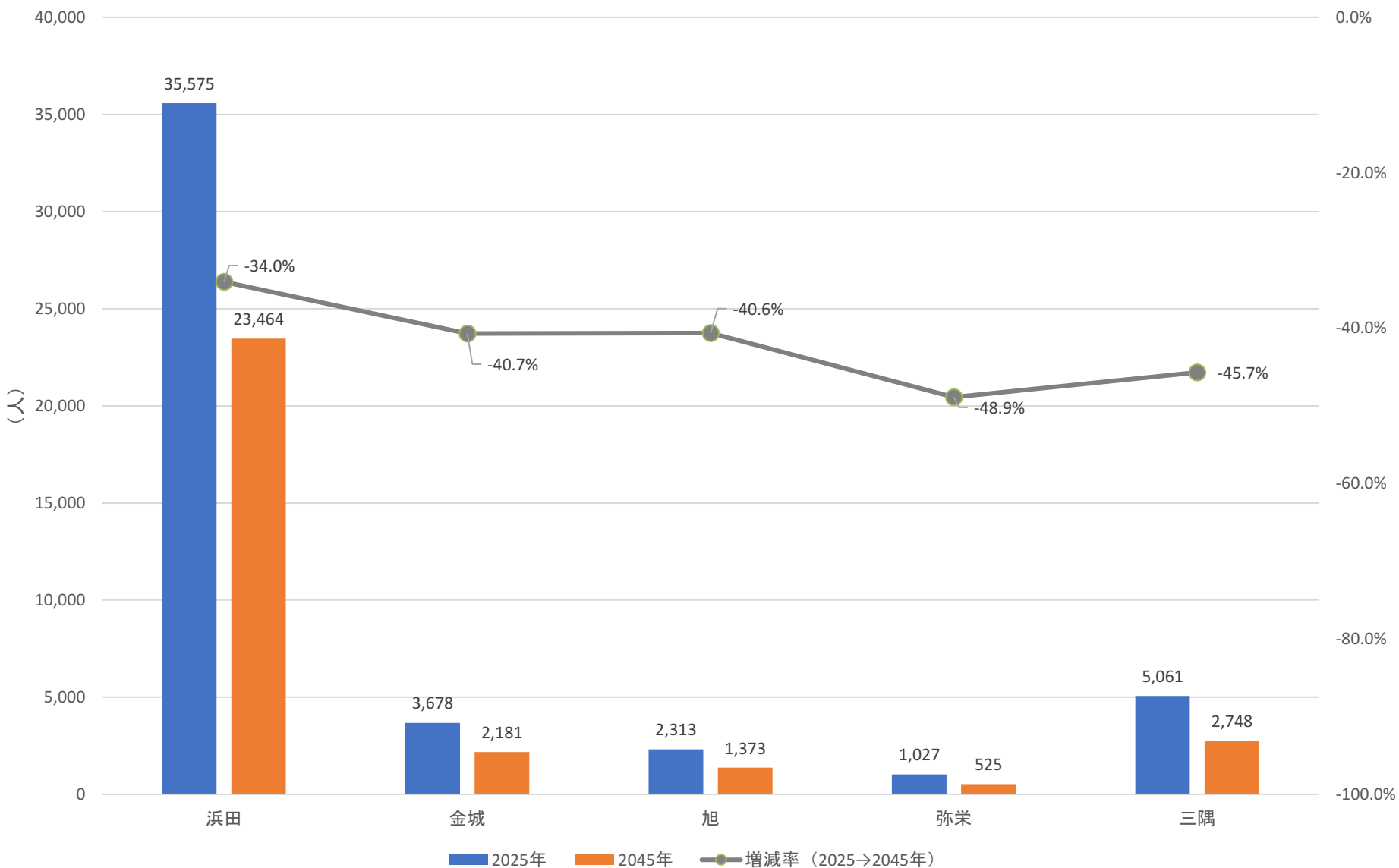
・2020年に生まれた子どもは30歳(親世代)になり、浜田市で子ども(孫世代)を産み、育てるタイミング

出典：2020年及び2025年の住民基本台帳 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」生存率

旧町別の推計人口の推移

・ 地区別（5地区別）の 2025年基準年人口及び 2045年人口は以下のとおりです。浜田市の地区別の人口は、全ての地区において人口が減少すると推計されています。また、2025年から2045年の人口減少率は、30%-45%を超えると予想されています。

旧町全体の推計人口の推移



出典：2020年及び2025年の住民基本台帳 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」生存率

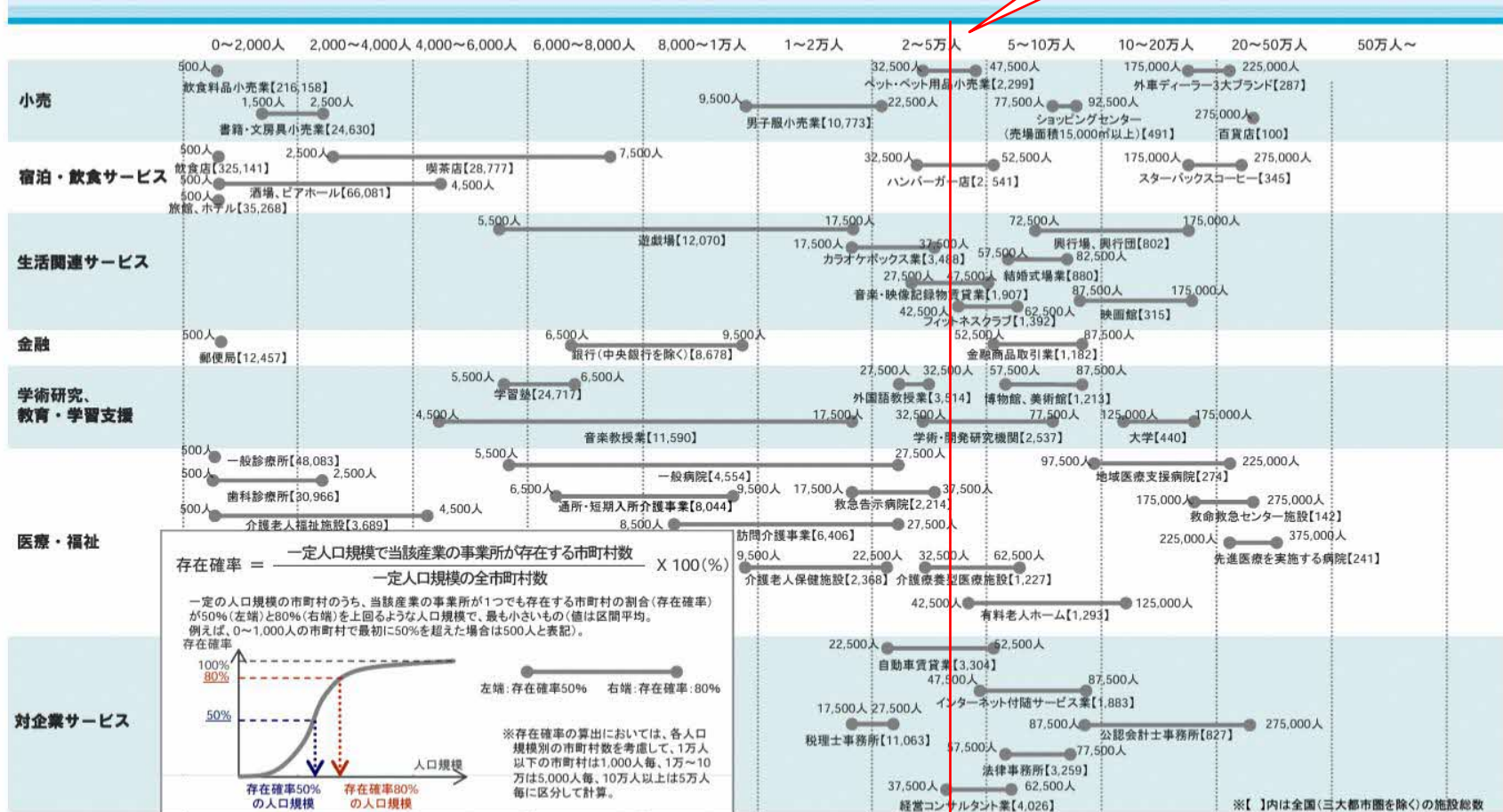
●人口減少が地域に及ぼす影響

■生活関連サービス施設の存在確率

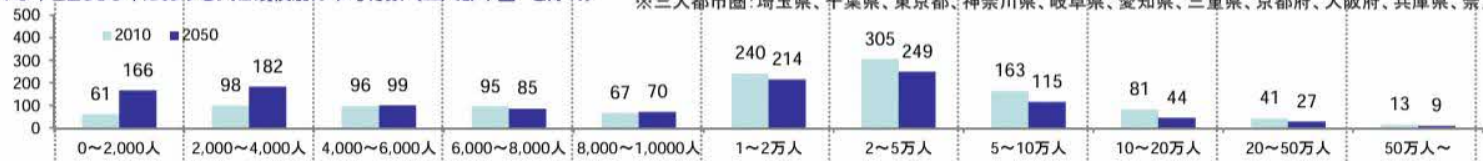
浜田市の人口変化



目標人口を
40,000人に設定
(案)



(参考) 2010年と2050年における人口規模別の市町村数(三大都市圏を除く)



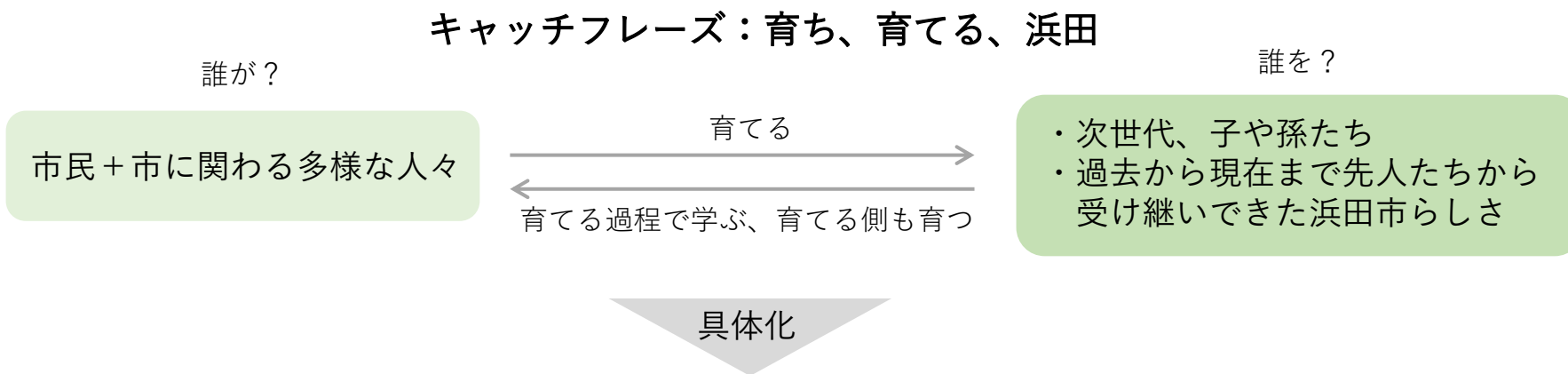
(注1) 2050年の市町村別人口は、国土交通省国土政策局推計値
(注2) 2010年、2050年ともに、人口規模別の市町村数は、平成22(2010)年12月1日現在の三大都市圏を除く1,260市区町村を基準に分類

(出典) 総務省「平成21年度経済センサス」、厚生労働省「医療施設調査 病院報告(平成24年10月)」、同「介護サービス施設・事業所調査(平成24年10月)」日本救急医学会HP、wellnes HP、日本ショッピングセンター協会資料、日本百貨店協会HP、メルセデスベンツ・フォルクスワーゲン・BMW各HP、スターバックスコーヒージャパン資料をもとに、国土交通省国土政策局作成

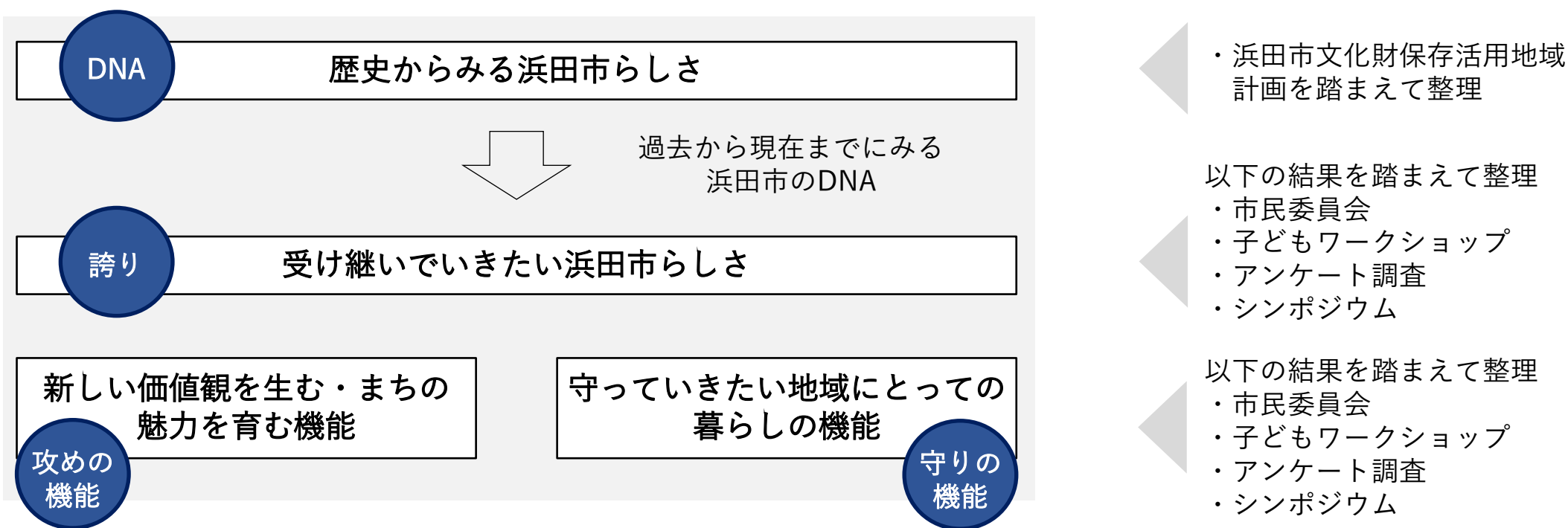
【資料5】
第3次浜田市総合振興計画基本構想

目次構成	検討のポイント
第1章 序論	
1 第3次総合振興計画の概要	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想の計画期間は8年間、基本計画は4年間 ⇒基本構想は浜田市としてのビジョン(目的)、基本計画は基本構想の実現に向けた市長の政策(手段) 総合振興計画、総合戦略の一体化と役割を整理 等
2 第2次総合振興計画の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 目標指標を活用として、第2次総合振興計画を評価・検証
3 まちづくりを取り巻く状況	<ul style="list-style-type: none"> 加速する人口減少、新たなライフスタイル・価値観、インバウンドの増加 等
4 浜田市が誇る地域資源	<ul style="list-style-type: none"> 浜田市が誇る地域資源を3つ整理(浜田市らしさの明確化) 等
5 今後のまちづくりの視点	<ul style="list-style-type: none"> 多様な主体との将来像の共有、市民の幸福度を高めるための取組、新たな担い手としての交流人口・関係人口の創出、公民連携によるまちづくりの推進、DX・デジタル化の推進による持続可能な地域社会の実現、シティプロモーションの推進による共感と行動変容の促進 等
第2章 基本構想	
1 基本理念と将来像	
(1)基本理念	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりに係る普遍的な考え方を整理
(2)将来像の設計方法	<ul style="list-style-type: none"> 歴史からみる浜田市らしさ、受け継ぎたい浜田市らしさ、攻めの機能の強化・守りの機能の維持
(3)将来像	<ul style="list-style-type: none"> 基本理念に基づき目指す中長期の理想の状態を整理 ⇒市民委員会、子どもワークショップ等を踏まえたビジョンイラストを整理
2 将来像の実現に向けた目標値	
(1)目標指標の設定	<ul style="list-style-type: none"> 基本理念・将来像の達成を評価するための目標指標を設定 ①幸福度(新規追加の目標数値) ・現況と将来的に目指す幸福度を設計 ②目標人口(≒人口ビジョン) ・住み続ける上で必要な生活サービス機能を維持するために必要な目標人口を設計
(2)目標値の設定	<ul style="list-style-type: none"> 今後8年間で目指す目標指標及び目標値を提示
3 政策体系	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画のベースとなる政策体系を整理
4 計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画の策定と推進、地域との協働・共創によるまちづくりの推進、健全な財政運営と行財政改革の推進、行政評価による経営管理、広域連携の推進と国・県等関係機関との連携強化

基本理念・・・まちづくりに係る普遍的な考え方



将来像・・・基本理念に基づき目指す中長期の理想の状態

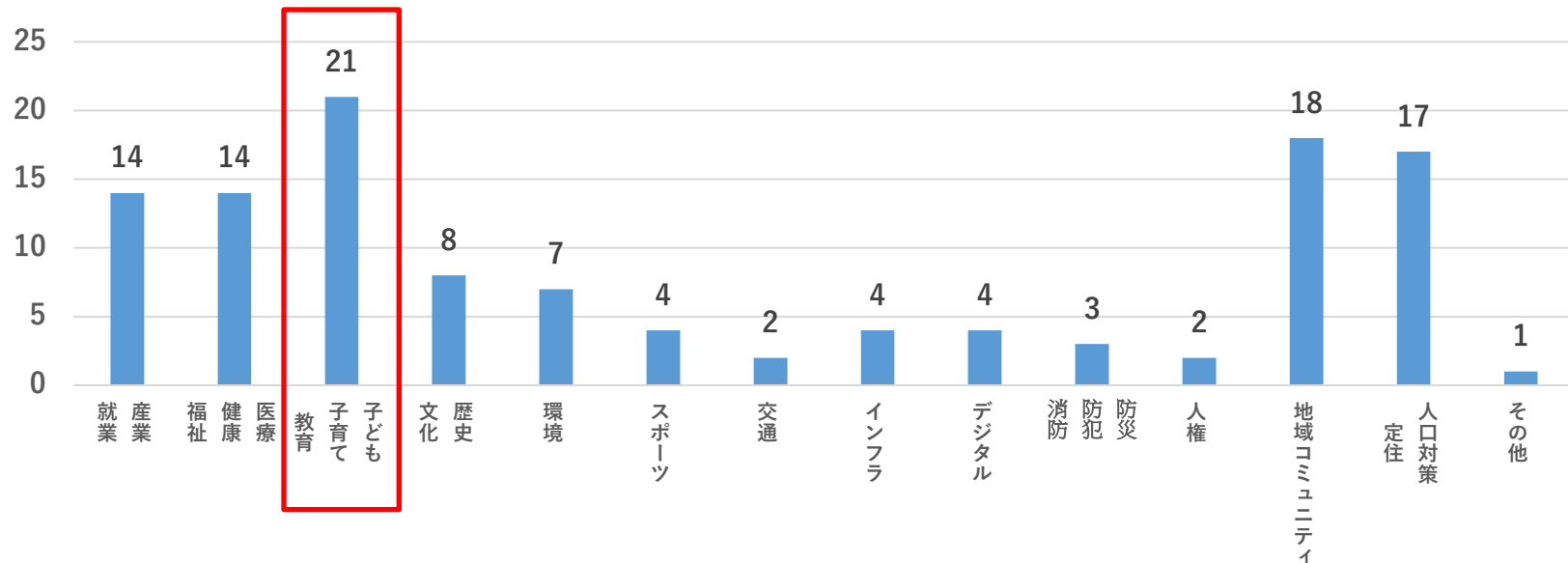


●基本構想 1. 基本理念と将来像 (2)基本理念

- ・キャッチフレーズ「育ち、育てる、浜田」は、市民委員会で出た意見をもとに設定しています。
- ・次世代、子や孫たちを育てることについては、以下の意見が挙げられました。

●次世代、子や孫たちを育てる

- ・市民委員会出席者の関心テーマとして、「**子ども・子育て・教育**」が最も多く挙げられました。



- ・新しい価値観を生む・まちの魅力を育む機能として、**こどもの遊び場・居場所**に関するものが数多く挙げられました。



子ども・子育て・教育が浜田市民にとって最も重要なテーマとなっています。
次世代を担う子どもたちを育てる視点を取り入れたまちづくりが求められています。

- ・ キャッチフレーズ「育ち、育てる、浜田」は、市民委員会で出た意見をもとに設定しています。
- ・ 過去から現在まで先人たちから受け継いできた浜田市らしさを育てることについては、以下の意見が挙げられました。

●過去から現在まで先人たちから受け継いできた浜田市らしさを育てる

受け継いでいきたい浜田市らしさとして、以下のものが挙げられました。

- ・ 人のつながり（地域とのつながり、関わり・人の温かさ）
- ・ 自然の豊かさ（豊かな自然（海・山・森・川・水・空気・風）・四季の風景）
- ・ 石見神楽・文化・歴史（神楽・伝統芸能・地域の行事やイベント・浜田藩）

●第1回参加者写真



●ワークショップ風景



●ワークショップ結果



昔から市民によって育てられてきた文化が、今の浜田市らしさにつながっています。
浜田市らしさを育てていくことで、さらに次の世代へと受け継いでいくことができます。

- ・歴史を紐解くと、中心性・寛容性・芽吹きが3つが浜田市らしさの特徴として挙げられます。
- ・整理すると、新しいものを何でも受け入れるのではなく「**新しいものを受け止め、新しいものを芽吹かせるまち**」であることが浜田市らしさと言えます。

中心性

古代には石見国庁・国分寺が置かれ、石見地方の政治・経済の中心地として機能していました。また、江戸時代には浜田藩の城下町・港が整備され、大正時代には山陰線が開通して交通の要所となるなど、古くから石見の中心都市として発展してきました。

寛容性

江戸時代に発達した北前船によって、山間部で生産された石州和紙や鉄などの特産品が港から全国各地へ広がっていきました。それと同時に他県との交流も活発化し、異文化を受け入れる寛容性が育まれてきました。

芽吹き

古来より式年祭で舞われていた石見神楽は、時代とともに異文化を寛容に受け入れ、素朴な衣装から重厚な金糸などを用いた華やかな衣装へと独自に変化していきました。このように、**港を通じて外部から入ってきたものを受け止め、独自に発展させ、新しいものを芽吹かせてきた**ことが歴史から見る浜田市らしさと言えます。

・市民委員会では、受け継いでいきたい浜田市らしさとして、自然の豊かさや石見神楽などの文化が挙げられました。
 ・今後の市民アンケート調査・子どもワークショップ・シンポジウムでも、受け継いでいきたい浜田市らしさについてヒアリングを行います。

第1回市民委員会の結果
浜田市が誇る3つの地域資源上位3位

票数	カテゴリー	内容
37票	自然の豊かさ	自然豊か
		近くに海・山・自然がある
		身近な自然
		夕日の風景・雲が流れて美しい・海岸線の美しさ・落ち着いた海辺がある
		自然（海・風・川・水・陽・土地・山）
		海浜公園・マリンスポーツ・釣り・カヌー
		自然が豊か、海・川・温泉が多い
		マイナスイオン
		海岸、砂浜もあり、岩場もあり、波止もある、変化に富んでいて楽しい
		黄長石かすみ石玄武岩、目的なくふらっと行ける場所・バス停のような小さなスポット・川に冬鳥・生態学・川と生活
16票	石見神楽	石見神楽を幼児から大人で、世代交流
		神楽、連携・世代交流
		歴史・文化
14票	水産業	のどぐろ・どんちっちあじ・どんちっちかれい・いか
		魚がおいしい
		魚が採れる
		漁港

第2回市民委員会の結果
次世代に受け継ぎたい浜田市らしさ上位3位

票数	カテゴリー	内容
81票	人のつながり	人と人のつながり
		地域とのつながり、関わり
		人の温かさ
		人柄の良さ
		心の居場所（オアシス）
65票	自然の豊かさ	豊かな自然（海・山・森・川・水・空気・風）
		海と山が近くて触れあえる
		自然の中で遊んだ記憶
		変わらぬ景色
		四季の風景
51票	石見神楽・文化・歴史	神楽、伝統芸能
		多様な歴史・文化
		地域の行事やイベント
		方言
		浜田藩

- ・ 浜田市の将来像（＝基本理念に基づき目指す中長期の理想の状態）を、以下のように位置づけます。
- ・ 今後の市民アンケート調査・子どもワークショップ・シンポジウムで出た意見も将来像へ反映していきます。

将来像－浜田市らしさの伝承－

「歴史から見る浜田市らしさ」や市民委員会の結果から、「受け継いでいきたい浜田市らしさ」として、以下の特徴を見出すことができました。

- ・ 自然豊かで人の温かみを感じられるまち
- ・ 多様な考えを寛容に受け止めるまち
- ・ 子ども・若者をはじめ、多くの市民の新たなチャレンジが芽吹くまち

市に関わる多様な人々の価値観を寛容に受け止め、合意形成を図り、行動することで芽吹き、それを周りの人に共有していくことが、浜田市らしさの伝承につながります。

将来像－新しい可能性を生む・まちの魅力を育む機能の強化－

市民委員会では、魅力を高める機能として以下のものが挙げられました。

- ・ こども・学び・教育（島根県立大との交流会の開催、子どもの権利等）
- ・ 商店街（カフェなどの飲食店、商店街の機能強化等）

将来像－守っていききたい地域の暮らしの機能の維持・確保－

市民委員会では、守りたい機能として以下のものが挙げられました。

- ・ 医療（医療センターの機能強化等）
- ・ 教育・子育て（各地域における保育園・幼稚園/小学校/中学校の維持等）
- ・ 交通インフラ（バス停の整備、交通の自動化等）

●基本構想 2. 将来像の実現に向けた目標値

- ・将来像の実現に向けた目標値の設計イメージは以下のとおりです。
- ・基本理念・将来像の実現に向けて、分野別計画を策定します。市民の幸福度向上に向けては「浜田市ウェルビーイング戦略」で重点的に対応し、定住人口の維持に向けては「第3次浜田市総合戦略」で重点的に対応します。

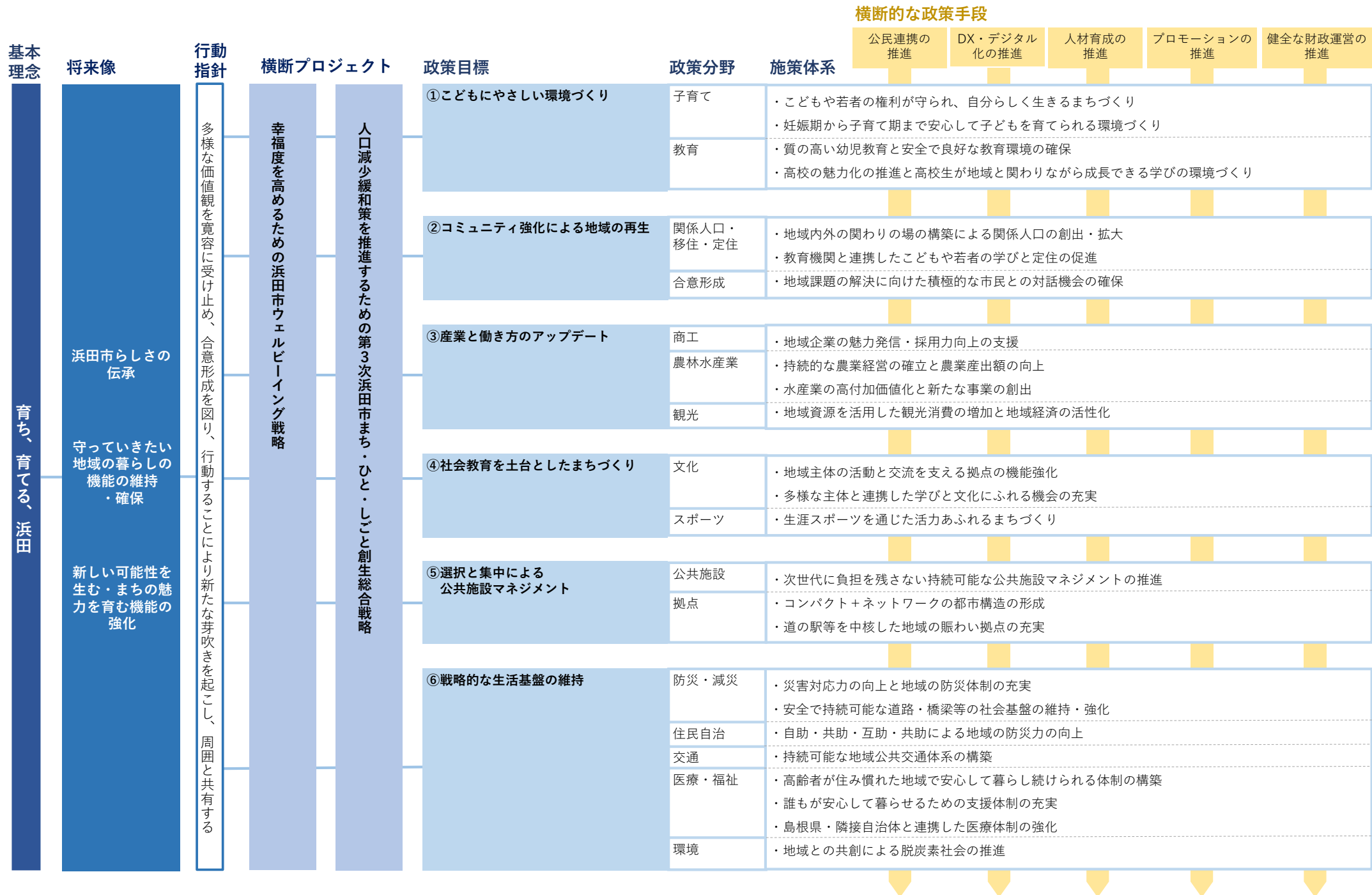
●基本理念に係る目標指標の設計イメージ

区分	目標指標	現況値		目標値			
		年度	値	年度	値	年度	値
育ち、育てる、 浜田	市民の幸福度	2026年度	〇〇点	2029年度	〇〇点以上	2033年度	〇〇点以上

●将来像に係る目標指標の設計イメージ

区分	目標指標	現況値		目標値			
		年度	値	年度	値	年度	値
浜田市らしさ	地域への愛着度	2026年度	〇〇点	2029年度	〇〇点以上	2033年度	〇〇点以上
守っていききたい 地域にとっての 暮らしの機能の 維持・確保	定住人口	2026年度	〇〇人	2029年度	〇〇人以上	2033年度	〇〇人以上
	定住意向	2026年度	〇〇%	2029年度	〇〇%以上	2033年度	〇〇%以上
新しい可能性を 生む・まちの魅 力を生む機能の 強化	観光客数	2026年度	〇〇人以上	2029年度	〇〇人以上	2033年度	〇〇人以上
	純付加価値額	2026年度	〇〇百万円	2029年度	〇〇百万円以上	2033年度	〇〇百万円以上

基本構想 3. 政策体系 (たたき台)



注：事務局（案）であり、今後、庁内策定委員会・審議会等を経て精緻化（文言等も修正）

- ・政策体系は市民委員会で出た意見をもとに作成しています。
- ・特に、政策目標①「こどもにやさしい環境づくり」や、横断的な政策手段については以下の意見を反映しています。

●政策目標①「こどもにやさしい環境づくり」

- ・市民委員会出席者の関心テーマとして、「子ども・子育て・教育」が最も多く挙げられ、浜田市民にとって最も重要なテーマになっています。
- ・優先すべきテーマであることから、1番目の政策目標に位置付けています。

●横断的な政策手段

公民連携の推進

- ・浜田市の目指すべき姿として、地域コミュニティの充実に関するものが複数挙げられ、**気軽に地域で話し合える場**や**意見を伝えられる体制**が欲しいという意見がありました。

人材育成の推進

- ・浜田市の魅力を高める取り組みについて、**島根県立大との交流会**の開催や、保育園～高校への**他県からの留学**などが挙げられました。

プロモーションの推進

- ・浜田市の魅力を高める取り組みについて、魅力はあるが**プロモーションが足りていない**、協力隊の**ことをもっと広報してほしい**、などの意見がありました。

・基本構想に掲げた目標を着実に推進していくために、以下に示す事項を記載します。

●基本計画の策定と推進

基本構想に基づく具体的な取組を進めるうえでの指針となる「基本計画」を策定し、総合的・計画的な行政を推進します。また、昨今の予測不可能な社会経済情勢の変化にも対応できるように、毎年の進捗管理により、柔軟に基本計画を見直せる仕組みとします。

●地域との協働・共創によるまちづくりの推進

基本計画に位置付ける具体的な施策・事業をはじめとして、行政主導だけでなく、地域との協働・共創によるまちづくりを推進します。

●健全な財政運営と行財政改革の推進

基本計画の策定・推進に際しては、8年後の世代に負担をかけることのないよう、財政健全化計画の推進に努めます。また、目標・計画の着実な実施に向け、浜田市行財政改革を推進します。

●行政評価による経営管理

個別の施策や事務事業については、基本構想・基本計画に位置付ける目標指標を活用した行政評価システムにより検証・改善を図ります。

●広域連携の推進と国・県等関係機関との連携強化

行政サービスの一層の専門化・高度化・厳しい財政状況の観点から、広島広域都市圏・近隣市町との連携強化により、効率的・効果的な事業推進に努めます。総合振興計画の円滑な推進を図るため、国県等関係機関との連携を密にし、効率的かつ着実な事業推進に努めます。

【資料6】
こどもワークショップ・
アンケート調査・シンポジウム資料

こどもワークショップの実施方針

背景

- ・2023年4月に施行された「**こども基本法**」
 - 全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会
 - = 「**こどもまんなか社会**」の実現を目指す

- ・浜田市では、2025年度から2029年度までを計画期間とする「**浜田市こども計画**」を策定
- ・「浜田市こども計画」の基本理念
 - 「こどもや若者が自分らしく生きるまちへ ～家庭・地域・社会全体で支え合うみんなの笑顔～」

権利の主体であるこどもや若者が自由に意見を表明し、自分らしく成長していく姿を、家庭や地域が見守るまちを目指す

子どもの意見収集の目的

- ①第3次浜田市総合振興計画（次期総合戦略を含む）の策定に向けて、**次世代を担うこどもたちの意見を反映**するために、こどもワークショップを実施
- ②浜田市ではこどもの意見を収集する取組は初めてとなるため、こどもワークショップ実施後は関係者で振り返り評価も行い、**浜田市にとって望ましいこどもの意見収集の手法を検討**
 - ⇒ **こども関係部局・関係団体との意見交換を実施**
 - ⇒小学生・中学生・高校生・大学生が対象
 - ⇒こどもの発達段階ごとの特徴を踏まえたワークショップの設計
 - ⇒対面での参加が難しいこどもの意見も収集

●こどもワークショップの実施方針

- ・リアル版（対面）に加えて、メタバースを活用した**デジタル版のこどもワークショップも実施**します。
⇒理由：不登校や家庭の事情などから、対面での参加が難しいこどもたちの声も反映させるため

■こどもワークショップ（リアル版・デジタル版）の実施方針

項目		リアル版	デジタル版
ターゲット	共通	小学生・中学生・高校生・大学生	
	個別	対面での話し合いに抵抗がないこどもたち	不登校や家庭の事情などから、対面での参加が難しいこどもたち
目的	共通	第3次浜田市総合振興計画策定に向けて、こどもたちの意見を収集 ⇒浜田市の好きなところ、居心地の良い場所・好きな場所、地域の魅力化に向けた取組	
	個別	小学生・中学生・高校生・大学生の縦と横のつながりを生み出す	対面での参加が難しいこどもたちの意見を収集
備考		会場に集まって対面で行う	メタバースを活用し、顔や年齢なども明かさずに行う

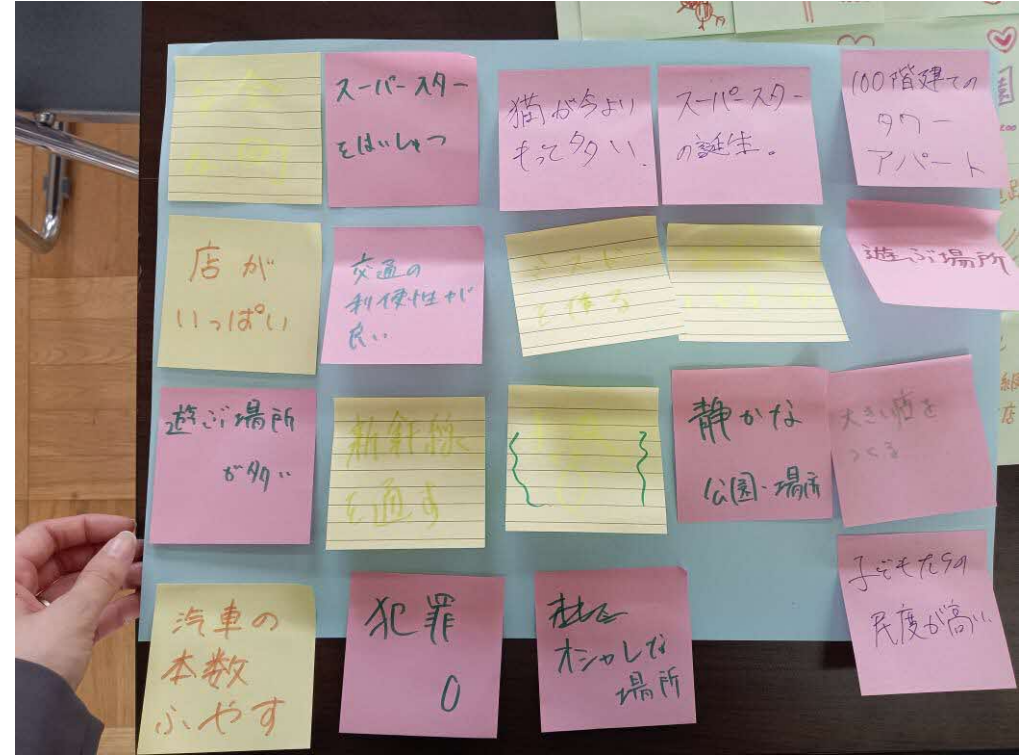
※こどもワークショップの参加者を募集する際は、上記のターゲット・目的は表記せず、こどもたちにとって参加し易い形式（リアル版/デジタル版）を選択頂くことを想定

●リアル版ワークショップの実施方針

- ・付箋に意見を書き出し、模造紙に張り付けることでグループごとに意見をまとめます。
- ・ファシリテーターが各グループを回り、適宜フォローに入ります。



▲江津高校でのワークショップの様子



▲付箋に意見を書き出したもの

- clusterというメタバースのツールを使用し、顔や名前を明かさずにワークショップを行います。
- Zoomのように部屋を分けることができ、各ルームごとにチャット機能等を利用して議論を行います。



▲NPO法人「いわみ子供の居場所を創る会」のメタバース空間



▲チャット機能のイメージ

・グループ分けはリアル版・デジタル版ともに以下の通りとします。


	グループ分け
グループの構成	小学生と中学生、中学生と高校生、高校生と大学生の3種類のグループ
特徴	グループ内での年齢差が抑えられる 対面でも心理的安全性が高く議論がしやすい
留意事項	<ul style="list-style-type: none">・グループ毎のアウトプットの差が大きくなり、高校生・大学生のグループの発表を小学生が理解できない可能性あり・高校生・大学生には、小学生・中学生にも分かるように、分かりやすい言葉で発表する必要あり

●こどもワークショップのプログラム (1) リアル版

【役割分担】

・政策企画課：全体進行、さとゆめ社：ファシリテーター

議題	時間(分)	担当	内容
開会挨拶	5	市長	
本取組の背景及び目的	5(10)	さとゆめ	・総合振興計画をこども向けにわかりやすく説明
浜田市の現状・将来	5(15)	さとゆめ	・浜田市の地理的範囲をわかりやすく説明 ・浜田市の現状・将来の人口動向をわかりやすく説明
ワークショップの進め方	5(20)	さとゆめ	・全体像を説明
グラドルールの制定	15(35)	さとゆめ	・ワークショップのグラドルールをこどもたちと一緒に制定
アイスブレイク	20(55)	さとゆめ	・各テーブルに分かれて、アイスブレイクを開始
休憩	10(70)		
以下、①～③の好きなグループに入ってもらい、それぞれワークショップを行う			
ワークショップ① ～浜田市の好きなところを 3つあげてみよう！～	30(100)	さとゆめ	・こどもからみた浜田市らしさを把握
ワークショップ② ～浜田市の居心地の良い場 所・好きな場所～	30(100)	さとゆめ	・こどもからみた浜田市の居心地がよく、好きな場所はどこか把握
ワークショップ③ ～市長に提案したい地域の 魅力化事業～	30(100)	さとゆめ	・浜田市をもっと魅力的なまちにするために、どんな取組があると良いか把握
振り返り	5(105)	さとゆめ	・グループごとに今回のワークショップの振り返りを行う
シンポジウムの紹介	5(110)	さとゆめ	・シンポジウムに登壇して、市長に地域の魅力化事業を提案したいこどもを募集
閉会挨拶	5(115)	政策企画課	
全体撮影	5(120)	さとゆめ	


 ・まちづくりシンポジウムで市長に地域の魅力化事業を提案したいこどもを募集
 ⇒参加意向のあるこどもを対象として、さとゆめ社が事業構想（発表資料）作成に向けて伴走支援

●こどもワークショップのプログラム (2) デジタル版

【役割分担】

・政策企画課：全体進行、さとゆめ社：ファシリテーター

■：リアル版と異なる点

議題	時間(分)	担当	内容
開会挨拶	5	市長	
本取組の背景及び目的	5(10)	さとゆめ	・総合振興計画をこども向けにわかりやすく説明
浜田市の現状・将来	5(15)	さとゆめ	・浜田市の地理的範囲をわかりやすく説明 ・浜田市の現状・将来の人口動向をわかりやすく説明
ワークショップの進め方	5(20)	さとゆめ	・全体像を説明
グランドルールの制定	10(30)	さとゆめ	・ワークショップのグランドルールをこどもたちと一緒に制定
操作練習	5(35)	さとゆめ	・アバターの操作方法を練習
アイスブレイク	15(50)	さとゆめ	・各テーブルに分かれて、アイスブレイクを開始
休憩	10(60)		
以下、①～③の好きなルームに入ってもらい、それぞれワークショップを行う			
ワークショップ① ～浜田市の好きなところを 3つあげてみよう！～	20(80)	さとゆめ	・こどもからみた浜田市らしさを把握
ワークショップ② ～浜田市の居心地の良い場 所・好きな場所～	20(80)	さとゆめ	・こどもからみた浜田市の居心地がよく、好きな場所はどこか把握
ワークショップ③ ～市長に提案したい地域の 魅力化事業～	20(80)	さとゆめ	・浜田市をもっと魅力的なまちにするために、どんな取組があると良いか把握
振り返り	5(85)	さとゆめ	・グループごとに今回のワークショップの振り返りを行う
シンポジウムの紹介	5(90)	さとゆめ	・シンポジウムに登壇して、市長に地域の魅力化事業を提案したいこどもを募集
閉会挨拶	5(95)	政策企画課	

- ↓
- ・まちづくりシンポジウムで市長に地域の魅力化事業を提案したいこどもを募集
⇒参加意向のあるこどもを対象として、さとゆめ社が事業構想（発表資料）作成に向けて伴走支援

■リアル版



みんなでわいわい
まちづくりワークショップ

ーリアル版ー

2026年
6月14日(日)

14:00 ~ **:00

(受付 13:30 ~)

会場:*****



あつまって、
しゃべって、
考えよう!



はじめてでも
大丈夫!

プログラム

- ワークショップ①
～浜田市の好きなところを3つあげてみよう!～
ワークショップ②
～浜田市の居心地の良い場所・好きな場所～
ワークショップ③
～市長に提案したい地域の魅力化事業～

※お申込み時に①～③の中から希望する
プログラムを1つ選択いただきます。

参加費：無料

対象：浜田市内にお住まいの
小学生～大学生

QR
コード

参加申し込みはこちら

■デジタル版



家から気軽に
まちづくりワークショップ

ーオンライン版ー

2026年
6月21日(日)

14:00 ~ **:00

お好きな場所からPC・スマート
フォン等でご参加ください



あつまって、
しゃべって、
考えよう!



はじめてでも
大丈夫!

プログラム

- ワークショップ①
～浜田市の好きなところを3つあげてみよう!～
ワークショップ②
～浜田市の居心地の良い場所・好きな場所～
ワークショップ③
～市長に提案したい地域の魅力化事業～

※お申込み時に①～③の中から希望する
プログラムを1つ選択いただきます。

参加費：無料

対象：浜田市内にお住まいの
小学生～大学生

QR
コード

参加申し込みはこちら

まちづくりシンポジウムの実施方針

1. 企画概要

<タイトル>

- ・浜田市の未来をみんなと語る日

<開催目的>

- ・（仮称）第3次浜田市総合振興計画の周知・公表
- ・浜田市らしさ、浜田市が目指す未来について、同じ言葉・同じイメージで話せる状態に到達
- ・みんなのチャレンジを応援し、称賛し合える機運を醸成 等

<募集方法>

- ・市HP、各種SNS、主要施設へのチラシ配布 等

<実施時期>

- ・パブリックコメント実施前にシンポジウムを開催

<備考>

- ・まちづくりシンポジウムの内容は動画撮影し、後日YouTubeにアップ

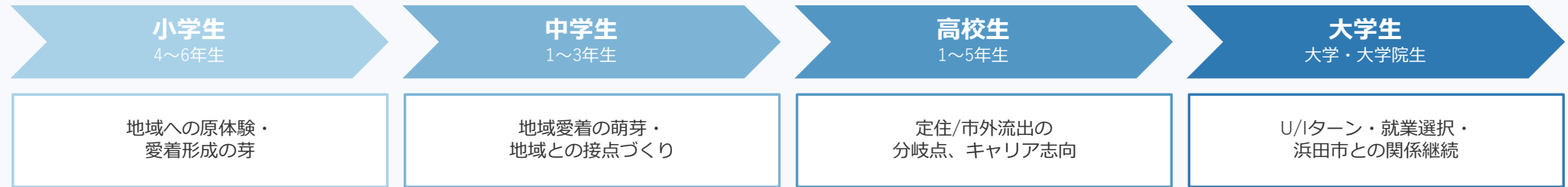
議題	時間（分）	担当	内容
開会挨拶	5	市長	・開会挨拶、浜田市の未来への想い
基調講演	20(25)	今後調整	・今後調整
学生提案	15(40)	ワークショップに 参加した子どもたち	・地域の魅力化事業の発表
	15(55)		
パネルディスカッション① ～子どもと考える市の未来～	40(95)	市長×子どもたち	テーマ1 ・地域の魅力化事業の実現化 テーマ2 ・また帰ってきたくなるまちにするには
休憩	10(105)	---	---
パネルディスカッション② ～そとからみる浜田らしさ～	40(145)	市長×移住者・関係人口 ※市民委員会参加者が対象	テーマ1 ・そとからみる浜田らしさ テーマ2 ・浜田らしさを受け継ぐためには
パネルディスカッション③ ～うちからみる浜田らしさ～	40(185)	市長×Uターン者 ※市民委員会参加者が対象	テーマ1 ・うちからみる浜田らしさ テーマ2 ・また帰ってきたくなるまちにするには
閉会挨拶	5(190)	副市長	・閉会挨拶、パブリックコメントの紹介

こどもアンケート調査票の概要

1. 調査票の概要

- 本調査では、高校・大学卒業後の定住促進に加え、一度市外へ転出した後も再び帰ってきたいとなる「学びのまちづくり」に向けた政策・施策の検討を行います。
- あわせて、発達段階ごとにおける「地域への愛着」「まちづくりへの参画意欲」「学びの縦横の連携」等を共通の視点で把握することで、ライフステージに応じた適切なタイミングでの政策介入につなげます。

■ 調査設計の考え方 | 発達段階を共通軸で捉え、課題と政策介入タイミングを可視化



	調査目的	調査対象	調査方法	調査設問
小学生アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 次世代を担う子どもたちの意見を計画に反映するため 地域への愛着・幸福感・将来の浜田市への希望を把握 	<ul style="list-style-type: none"> 市内小学校に通学する小学4~6年生 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校経由でアンケート調査票を児童に配布し、回収 WEB回答 【目標サンプル数】 可能な限り全数把握 	<ul style="list-style-type: none"> 基本属性/学びの連携 まちづくりへの参画意向 地域への愛着/浜田市の将来 幸福度・満足度 (全14問/簡略版)
中学生アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 次世代を担う子どもたちの意見を計画に反映するため 卒業後の進路意向、浜田市との関係希望を把握 	<ul style="list-style-type: none"> 市内中学校に通学する中学1~3年生 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校経由でアンケート調査票を生徒に配布し、回収 WEB回答 【目標サンプル数】 可能な限り全数把握 	<ul style="list-style-type: none"> 基本属性/今後の進路 学びの連携 まちづくりへの参画意向 地域への愛着/浜田市の将来 幸福度・満足度 (全22問)
高校生アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 高校卒業後、一度市外に出ても戻ってきたい、住み続けたい浜田市の将来の方向性を把握 	<ul style="list-style-type: none"> 市内・市外高校1~5年生 (浜田水産高等学校含む) 	<ul style="list-style-type: none"> 高校経由でアンケート調査票を生徒に配布し、回収 WEB回答 【目標サンプル数】 可能な限り全数把握 	<ul style="list-style-type: none"> 基本属性 (通学先選択理由含む) 今後の進路/学びの連携 まちづくりへの参画意向 地域への愛着/浜田市の将来 幸福度・満足度 (全21問)
大学生アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 大学卒業後の定着・U/Iターン等、浜田市との将来的な関係性に関する意向を把握 	<ul style="list-style-type: none"> 大学・大学院生 (修士含む) 	<ul style="list-style-type: none"> 大学経由でアンケート調査票を学生に配布し、回収 WEB回答 【目標サンプル数】 可能な限り全数把握 	<ul style="list-style-type: none"> 基本属性 (通学先選択理由含む) 今後の進路/学びの連携 まちづくりへの参画意向 地域への愛着/浜田市の将来 幸福度・満足度 (全19問)

※小学生は中高大と比べて簡略版の設問構成としています。共通軸（地域愛着/参画意欲/学びの連携/幸福度等）で発達段階ごとの差分を可視化し、政策の優先領域を抽出します。

市民アンケート調査票の概要

1. 調査票の概要

- ・本調査は、市民一人ひとりの価値観や生活実態、将来への期待を多角的に把握し、総合振興計画の実効性を高めることを目的として実施するものです。
- ・地域のコミュニティ参画や日々の暮らしにおけるWell-being、そして将来ビジョンに関する意向を調査することで、地域の現状と課題を可視化し、今後のまちづくりの優先施策を明確化します。
- ・また、本調査結果は、総合振興計画に位置付ける目標指標の設定・検証にも活用します。

■ 調査設計の考え方 | 市民の意向を多面的に捉え、総合振興計画・基本構想の優先領域を特定

① 個人・世帯の属性

性別・年齢・世帯・職業・収入・居住地区
・地域活動参加等（全16問）

② Well-being

人生満足度／幸福度／生活環境27項目／地域人間関係／自分らしい生き方／地域への愛着等（全14問）

③ 将来ビジョン

必要な取り組み（37項目）／次世代に受け継ぎたい価値観／残すべき生活機能／強化すべき公共施設（全3問）

■ 調査概要

	調査目的	調査対象	調査方法	調査設問
市民アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・総合振興計画策定の判断材料とするため ・市民の幸福度・満足度、生活環境、地域への愛着、将来の方向性等を把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に居住する18歳以上の方（無作為抽出） 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民基本台帳から無作為抽出 ・WEB回答を推奨、紙回答も可 <p>【目標サンプル数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市全体：9000-1200サンプル <p>※3,000部配布、回収率30-40%想定.次頁参照</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本属性（性別・年齢・世帯・職業・収入等） ・人生の満足度／幸福度・満足度 ・生活環境評価／地域の人間関係 ・自分らしい生き方／地域への愛着 ・地域振興組織への参画 ・浜田市の将来に必要な取り組み ・次世代に受け継ぎたい価値観等（全33問）